

第31号

2020年7月3日

(令和2年7月3日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8217
奈良市橋本町3-1
きらっ都・奈良内NARAEgg 気付

新型コロナで総会が「書面開催」に、万葉本は進捗中！

昨年、武漢市（中国湖北省）で発生した新型コロナウイルス感染症の流行は、いまだ予断を許さない様相です。このような状況のなか、当会は4月12日（日）に開催予定だった入会説明会・合格者祝賀会の中止に引き続き、6月21日（日）開催の「第8回通常総会」を書面開催（書面による議決）に切り替えました。ガイドや講演活動も中止や延期となりましたが、一方で予定通り粛々と進めている案件もあります。

（専務理事 鉄田 憲男）



総会は最少人数で開催（6/21）

『奈良万葉の旅百首』を制作中
来年2月の発刊をめざし、奈良県内の万葉歌百首を紹介する書籍を制作しています。コンセプトは「この本を携えて、現地を訪ねていただけるように」。底本は多田一臣著『万葉集全解』（筑摩書房刊）としました。犬養万葉記念館・岡本三千代館長の推薦の言葉をいただき、奈良大学文学部・上野誠教授に監修していただく予定です。

6月20日（土）には執筆者向けの説明会を開催しました。



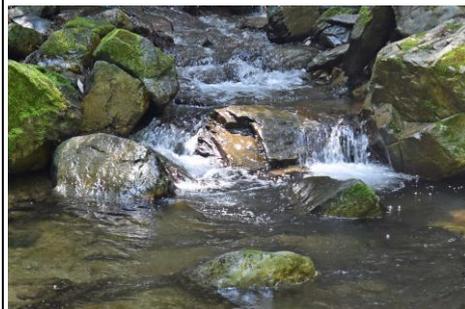
万葉本執筆者向け説明会（6/20）

原稿の執筆に先立ち、ロケハン（下見）をしてきました。五條市と和歌山県橋本市との間にある



万葉古道（真土山の峠道 4/8）

まつちやま 真土山と、吉野町の象の小川（喜佐川）です。足を一步踏み入れると、もうそこは万葉の世界。小川にはマイナスイオンがいっぱい漂っていました。



象の小川（吉野町喜佐谷 5/11）

「ゆうドキッ！」が一時電話出演に
新型コロナ感染拡大防止のため、当会会員の出演は、4月下旬

から5月末まで電話出演となりました。自宅のテレビで生放送の同番組を見ながら解説をするというスタイルで、苦勞しながら対応していただきました。

妖怪「アマビエ」がブームに

全国的にアマビエがブームになっています。江戸時代の熊本に海に出現したという伝承のある妖怪（幻獣）で、人魚のような外見ですが、口に特徴があります。

その姿を絵に描いて流布すると疫病がやむという伝説があり、新型コロナの感染が拡大し始めたころから全国的な人気者になりました。厚生労働省も、外出自粛の啓発キャラクターに採用しました。



アマビエ（by 藤井哲子さん）

絵は当会会員でアーティストの藤井哲子さんに描いていただきました。コンセプトは「新時代の共存～コロナ後の世を見据え、アマビエがドクター、生きもの、従来の^{ばいきん}菌とともに、見えない相手である COVID-19 に向き合う場面をイメージしました」。

菅谷文則氏の講演録が2月に発刊
故菅谷氏が大安寺で講演(6回)
された記録(大安寺歴史講座1.)
で、いわば氏の遺作です。
ご一読をお薦めいたします。

菅谷文則
大安寺歴史講座1
菅谷文則は、奈良国立歴史民俗学研究所長、南都大安寺編

大安寺伽藍縁起 并流記資料帳を読む

我が国最初の官立寺院。
創建のいきさつや由緒と
仏像をはじめとする財産目録から
奈良時代の大寺院の姿を掘り起こす。 東方出版

日本書紀の記念イベントに応募
昨年は「令和記念」として万葉
集のイベントを行いました。令和
2年の今年、日本書紀が編纂さ
れてから1300年の節目の年です。
文化資源活用課(県文化・教育・

くらし創造部)からお声かけいた
だき、今年も「文化資源活用補助
金」にチャレンジいたします。東
京での3回の講演と、現地での講
演つきウォーキングを3回行うと
いうものです。ご注目ください!

キャッチフレーズ	講座とウォーキングで丸わかり!『日本書紀』1300年	奈良まほろばソムリエの会	区分	③イベント
事業名	歩く・見る・学ぶ!『日本書紀』物語	補助申請額	192千円	事業期間(金休)
				令和2年5月1日~ 令和3年3月31日

ウォーキングイベント、現地講座、東京講座の3本立てで、『日本書紀』の舞台・飛鳥、橿原、桜井を立体的に学ぶ
1. イベント当日のプログラム(令和2年10月、11月、12月の3回を予定)「飛鳥の宮跡」「経皇太子と経皇女の悲恋」「大物主神と4人の妻」の3テーマ
コース(1)(テーマ)ミステリアス! 飛鳥の宮跡をたどる 9:30~15:30 8Km(定員:50人)
橿原公苑集合(橿原公苑講演)→豊浦宮跡→小墾(治)田宮跡→(甘樫丘休憩所)昼食→遠つ飛鳥宮跡→近つ飛鳥八約宮跡→飛鳥宮跡(飛鳥岡本宮・飛鳥板蓋宮・飛鳥岡本宮・飛鳥浄御原宮)→川原宮跡→亀石→(近鉄飛鳥駅) ※橿原公苑は70人収容
◆別途、8月頃に「奈良まほろば館」で90分の入門的な講演を行う(例)「日本書紀の飛鳥」

コース(2)(テーマ)禁断の恋・経皇太子(かるとみこと)と経皇女(かるとみこ) 9:30~15:00 5Km(定員:50人)
橿原公苑集合(橿原公苑講演)→いもあらい地蔵尊→田中廃寺(田中宮跡)→和田廃寺→(甘樫丘休憩所)昼食→剣池→孝元天皇陵→石川稲倉→経寺跡→五条野丸古墳→(近鉄岡寺駅) ※橿原公苑は70人収容 ◆別途、9月頃に「奈良まほろば館」で90分の入門的な講演を行う(例)「日本書紀の橿原」

コース(3)(テーマ)三輪山伝説・大物主神と4人の妻 9:30~15:30 7Km(定員:80人)
エルト桜井(JR・近鉄桜井駅前)集合(エルト桜井講演)→光明天皇磯城嶋金刺宮跡(しきしまのみなさしのみやあと)伝承地
《昼食》→海石稲布(つばいち 仏教伝承の地)→つばいち稲首→金屋石仏→志貴御泉(しきのみあがた)神社→
崇神天皇磯城嶋宮跡(しきのみさきのみやあと)伝承地→平等寺→大神神社→弁天社古墳→孤塚古墳→(JR三輪駅)
※エルト桜井は100人以上収容 ◆別途、10月頃に「奈良まほろば館」で90分の入門的な講演を行う(例)「日本書紀の桜井」

2. イベントを行うことで得られる効果
(1)奈良県の歴史・文化資源を知ってもらう
・飛鳥、橿原、桜井にある『日本書紀』に登場する歴史の舞台(歴史・文化資源)を知ってもらう
(2)地域住民の「地元愛」を涵養する
・今年、編纂1300年を迎える『日本書紀』の内容を知ってもらい、地に誇り、愛着を持ってもらう
(3)東京の奈良ファンにアピールする
・東京での講演を通じ、奈良に興味・関心を持ってもらい、奈良に足を運んでもらう

3. P.Rポイント
・現地講座(予習)とウォーキングを組み合わせることで、『日本書紀』の内容を立体的に理解してもらいます!
・「講座」と体(ウォーキング)を使うことで、心身の健康の維持・増進、健康寿命の延伸にも役立てていただきます!
・現地講座の講師には木村三彦氏(橿原市観光ボランティアガイドの会会長、元奈良県観光ボランティアガイド連絡会会長、奈良まほろばソムリエの会顧問)を採用することで、正確で分かりやすい情報提供に努めます!
・東京の奈良ファンを引きつけることで、宿泊観光客の増加を図ります!



飛鳥宮跡



崇神天皇磯城嶋宮跡伝承地

シリーズ「万葉集」

『万葉集』のあらまし(2)



(巻6-924 情景
桜木神社境内に歌碑がある)

第三期は、平城京遷都(710年)から天平5年(733年)までの約25年間です。この期間には、日本最古の歴史書である古事記の成立や日本書紀の成立、養老律令の制定などがあり、律令体制が絶頂期を迎えた時期になります。

この第三期の作者には、大伴旅人、山上憶良、山部赤人などがいますが、山部赤人の歌一首(巻6-924)

み吉野の象山の際の 木末には ここどもさわく 鳥の声かも

意味は、「み吉野の象山のあたりの梢には、多くさえざり合う鳥の声がひびくよ。」となります。

第四期は、天平5年から最後に詠まれた天平宝字3年(759)までの約25年間です。この時期になると律令体制が崩れてきます。この第四期の作者には、大伴家持、笠女郎、防人などがいますが、大伴家持の歌一首(巻18-4097)

すめらみ 天皇の 御代栄えむと 東なる 陸奥山に 黄金花咲く

意味は、「天皇の御代が繁栄するだろうとて、東国の陸奥の山に黄金の花が咲くことよ。」となります。

この歌は、東大寺の大仏造立に

あたり、鍍金をするための金が陸奥国から産出したことを喜んで作った歌です。

●歌は相聞歌・挽歌・雑歌の3つが基本

「相聞歌」は恋の歌が中心です。数え方により違いますが、約2,000から2,500首あります。

恋歌が多いのは、当時は結婚しても長い間一緒に住むことはなく、夫が妻の元に通う「通い婚」が一般的だったからです。

「挽歌」は死者を弔う歌です。本来、葬送に詠われた歌で、約270首あります。

「雑歌」は相聞歌と挽歌以外の歌で、宮廷行事や行幸に関わる政治的な事柄が多く詠われています。約1,700首あります。

(米谷 潔)

新会員紹介



皆様初めまして、佳山隆生と申します。本業は売れない画家をやっております。水彩画です。これまで色んな風景を描いて参りましたが、これからは奈良のみにこだわって表現しようと画策し

ておりました折、この資格に出会いました。何分、学生時代より歴史嫌いで、奈良に住みながら無知そのものでしたので、どこから勉強を始めようかと足踏みをしていたところ、春日大明神のお導きにより、当会の大西寛美さんにお引き合わせをいただき、弟子入りを果たしました。自力では難しかったでしょうね。元より怠惰な人間ゆえ、師匠を作り、周囲には3年でソムリエになると公言したからこその結果だと思えます。

お陰様でこの3年間でかなりの

地へ足を運び、ロケハンもおおよそ終了しましたので、ゆっくりと芸術活動を楽しみたいと考えております。

今後は何かしら絵画で奈良を案内出来ないかと模索しております。手始めに現在はYouTube動画を作成・学習中です。尚、小生の作品につきましては「佳山隆生」で検索いただくとウェブサイトが表示されますので、ご興味ある方はご覧ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

(佳山 隆生)



今年ソムリエ級に合格し、この度広報 G へ参加させて頂くことになりました磯兼と申します。まだ何も分からない状態ですが、宜しくお願い致します。

奈良の魅力に取りつかれて数年余りが経ちました。そのきつ

けが「奈良まほろばソムリエ検定」です。奈良について知れば知るほど、その奥深さに魅了されていきました。それからは、週末には県内の様々な場所を訪ね、寺社や古墳や歴史の本を読みふけり、奈良の番組を録画するような、自他ともに認める奈良好きとなって今に至ります。

そんな奈良の魅力を教えてくれた「奈良まほろばソムリエ検定」を盛り上げたい、そう思って広報 G に参加致しました。合格者の1

人として検定の魅力を広めることが、奈良ファンを育むことになると思っております。また今回初めて会報紙を拝見し、ソムリエの会ならではの深い内容や活動に感銘を受けました。この内容を、HP を基幹としながら、新たに SNS での情報発信を加えられれば更なる広がりが見えるのではとも考えたりしております。

未だ先は見えない状況ですが、普段の日常が早く戻ることを願っております。(磯兼 史洋)



私は天理市在住で、南都銀行に勤務しています。昭和38年に生まれて以来、地元で過ごしてきたものの「灯台もと暗し」で、地域に関しては何も知らず、無関心そのものでした。

平成29年10月、地域活性化に取り組む同行の組織として「観光戦略室」が設置され突然、転機が訪れました。

「歴史文化・食・気候・自然」という観光の4大条件を備えた奈良県において、観光は間違いなく基幹産業になるとの考えのもと組織がスタートし、私も一員に加わりました。

仕事の上から知識習得に迫られただけでなく、何より同じ職場でソムリエの会の鉄田専務理事と出会ったことが大きな刺激となりまし

た。常に尻をたたかれ、プレッシャーを受けながら、2級受験からスタートしました。

しかし半ば強制から始まったものが、いつしか自主的なものに変化していきました。ソムリエの会の特別対策講座などに参加し、合格への大きなパワーをいただきました。本会における様々な活動を通じて地元への見識を更に高め、これまで育ててくれた地域に恩返しすることが、私の目標です。(木村 茂浩)

新会員紹介



千葉船橋在住なのに「奈良が好き」というだけではじめてしまった検定挑戦でした。地名がわかりません。川がどちらに流れているかも???途中で何度やめようと思ったことか。でも、船橋からは

日本橋の奈良まほろば館へも、法隆寺宝物館のある東京国立博物館へも乗り換えなしで行かれます。おまけに奈良行き夜行バスも通っています。まほろば館では、名物ご住職や町長さん、地元愛にあふれた役所の方などから直接お話を聞くことができました。

ソムリエ会の講座を知り、合格まで「通信教育生」としてご指導いただきました。運慶展、正倉院展では、貴重な実物がわざわざ関東へやってきてくれました。体験学習プログラムは「法隆寺宝物館の見学」です。プラネタリウムの天井の夜行バスで早朝に奈良入り。

支援セミナーや直前講座を受けました。

ソムリエ試験当日も、早朝から筋違道を9キロ歩いて、午後受験という強行軍をやったのけました。試験を終え、「過去問をスマホで繰り返し返せたらいいのにな」と思い、HP作りをはじめました。パソコン教室の講師をしていたので知識はあります。会のHPにも載せていただけるとか。

ご縁に導かれ、素直に従っていただければ、運にも恵まれるということ。奈良との遠距離交際はようやくスタートしたところです。

(風間 千春)



奈良まほろばソムリエの会員、小倉つき子氏著「廃寺のみ仏たちは、今～奈良県東部編」、京阪奈新書から発売開始!! 様々な理由で多くのドラマを背負った仏像の軌跡の物語。



奈良まほろばソムリエの会理事、松森重博氏の歌集「大和まほろば」好評発売中!! 他にも出版企画進行中! 会員の皆様も想いをカタチ(本)にしませんか?

奈良の魅力を奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 [京阪奈情報教育出版](#)

◆国宝仏から秘仏まで『廃寺のみ仏たちは、今』奈良県東部編

仏教伝来の地とされる奈良の歴史の中、格式高い寺院の多くが廃寺となり、神宮寺や村寺、山間の修行寺院などもいつしか廃されました。伽藍の焼失、権力争いの犠牲、廃仏毀釈のあおりなど、廃寺に至った理由は様々です。幸いにも仏像だけは新たな場所でもろろじて守られてきました。そして、変わりゆく世情や争いを見つめ、人々の悲喜こもごもの祈りを受けてこられたのです。多くのドラマを背負った廃寺の旧仏を、県東部地域を中心に取材し、その軌跡と今のお姿をまとめました。【小倉つき子=奈良まほろばソムリエの会会員】

<編集後記>

新型コロナウイルスの影響でいろんなことが変わろうとしています。新しい社会に向かって前向いて行きましょう。

(広報 G)

磯兼・風間・柏尾・梶尾・佳山・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・島田・豊田(敏)・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町 3-1 きらっ都・奈良内 NARAEGG 気付

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>

「奈良検定講座」ページ開設しました



HPのQRコード